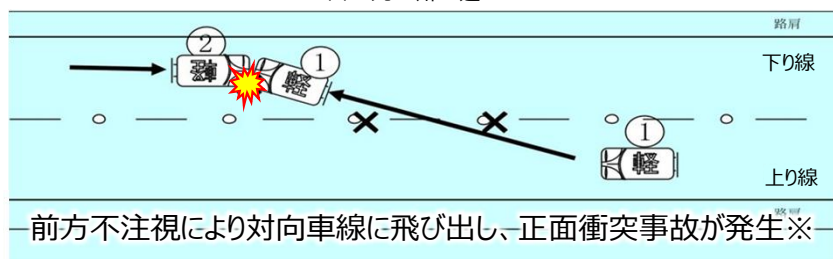


事故・通行止めの減少

- 4車線化前は、当該区間（佐々IC～佐世保中央IC間）で正面衝突事故が5年間で3件発生しており、事故発生時には全面通行止めとなっていた。
- 当該区間の4車線化完成に合わせて中央分離帯を設置したことにより安全性が向上。4車線化完成後は正面衝突事故に伴う通行止めは発生しておらず、円滑な通行を確保。残る区間の4車線化を鋭意進めている。



西九州道



資料：NEXCO西日本（長崎県警へのヒアリングに基づく）
※西九州道（佐世保道路）の暫定2車線区間における事故事例

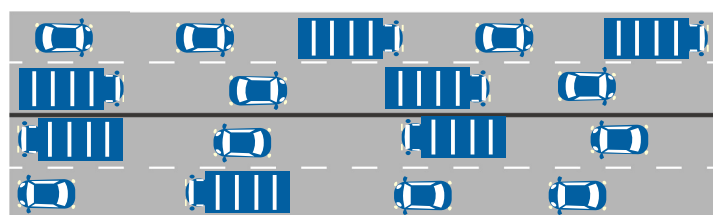
【完成前】片側1車線の為、通行止めが発生



中央分離帯がないため対向車線へ飛び出すと正面衝突事故などの重大事故に直結しやすい。また、事故が発生すると事故車や復旧作業により車線を閉塞するため、通行止めが生じている。

改善

【完成後】安全性が向上し、円滑な通行を確保



4車線化に合わせて中央分離帯を設置しており、正面衝突事故に伴う通行止めは発生していない。